

製品仕様

粘着層付改質アスファルトルーフィング プロタイト

着色塗料
合成繊維不織布
改質アスファルト (粘着タイプ)
離型フィルム

厚み・1mm
幅・1m
長さ・16m
重量・16kg

製造元
静岡瀝青工業株式会社

改質アスファルトルーフィング 和(なごみ)

着色塗料
鉱物質粉粒
合成繊維不織布
改質アスファルト
鉱物質粉粒

厚み・0.9mm
幅・1m
長さ・21m
重量・19.5kg

製造元
静岡瀝青工業株式会社

漏水試験

栄四郎瓦社内にて、瓦葺きを想定した試験体を作り、漏水試験を行いました*。
(写真はプロタイト試験より)

それぞれの勾配の試験体に野地板を張り、その上にプロタイトを張ります。

2 縦桟木・瓦棧を釘(#14×45mm)で留め付けます。

3 瓦葺きを想定してスクリーュー釘*1・ビス*2を打ち込みます。
*1 #12×65mm *2 #13×65mm

4 桟木釘・瓦釘・瓦ビスを合計63箇所打ち付け、準備完了です。

5 過酷な条件のもと、2時間連続400mm/h相当を散水します。

6 散水完了後、野地板の裏面全体に漏水はありませんでした。

7 野地板裏面、貫通したビス穴周辺にも、漏水はありませんでした。

8 ルーフィングを剥がし、野地板表面を確認します。

9 63箇所全ての釘・ビス穴の周辺で漏水はありませんでした。

試験結果
野地板の表面・裏面、全ての桟木釘・瓦ビス・瓦釘の周辺で漏水はありませんでした。

* 試験実施日:プロタイト(2.5寸勾配):2017年4月18日/和(なごみ)(3.0寸勾配):2021年6月29日
* 漏水保証の詳細に関しては当社までお問い合わせ下さい。

製品は改良のため、予告なく変更することがあります。/本パンフレットは印刷物のため、現物の色と若干異なる場合があります。

EISHIRO
栄四郎瓦株式会社
http://www.eishiro.co.jp

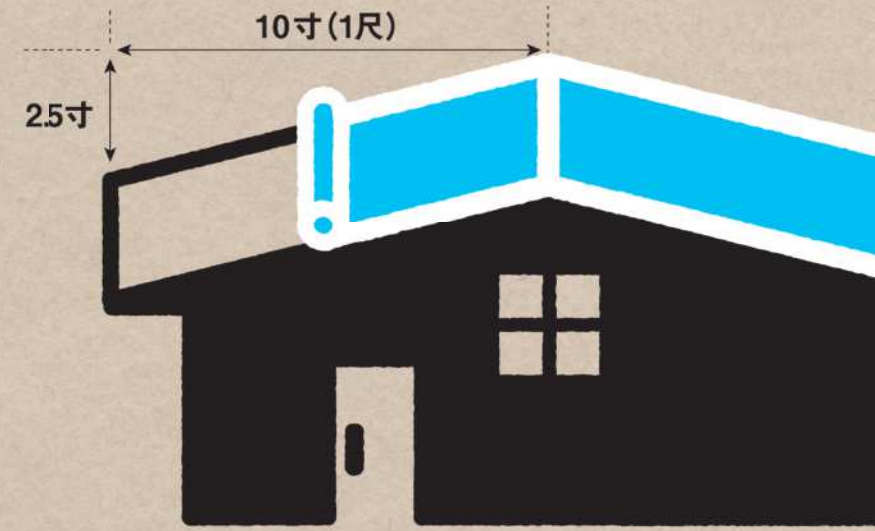
本社 〒447-8512 愛知県碧南市白沢町1-38
Tel.0566-48-5115 Fax.0566-48-2416
関東営業所 〒321-3233 栃木県宇都宮市上籾谷町3097-3
Tel.028-612-5823 Fax.028-612-5824
九州営業所 〒849-0101 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀5529
Tel.0942-94-4460 Fax.0942-94-4383



2.5寸勾配以上の新築屋根には

粘着層付改質アスファルトルーフィング

『プロタイト』



どんなに緩勾配対応と称された瓦製品でも
それだけで雨水の侵入を完全に防ぐことはできません。
適切な下葺材を使い、野地部分の漏水対策を強化し、
雨水の侵入を防げる施工を行ってください。

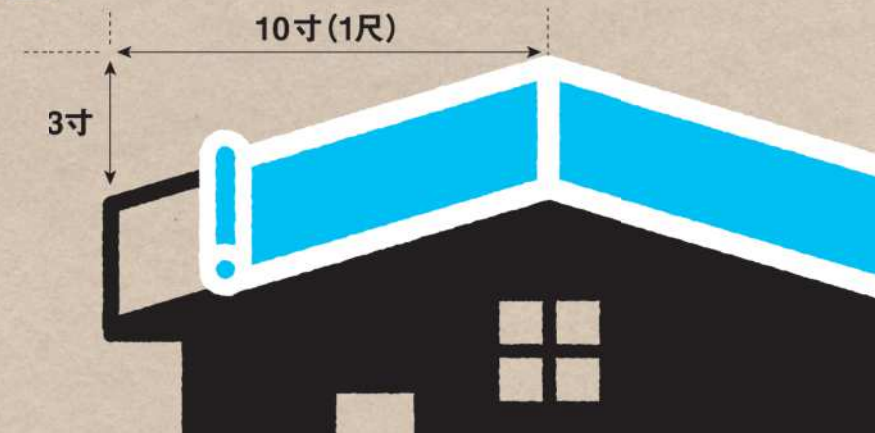


栄四郎瓦で葺く
緩勾配屋根
下葺材施工ガイド
【防水強化仕様】

3寸勾配以上の新築屋根なら

改質アスファルトルーフィング

『和(なごみ)』



屋根の防水機能を100%発揮するためには、適切なルーフィング選びと施工が欠かせません。

屋根下葺材は、

2.5寸以上なら…
 粘着層付改質アスファルトルーフィング
『プロタイト』
 を使用してください。

- 屋根下地用の防水シート「プロタイト」。高い釘穴シーリング性を持ち、優れた防水性能を発揮します。

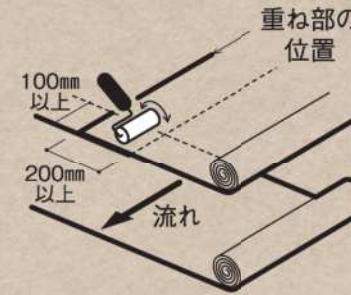
3寸以上なら…
 改質アスファルトルーフィング
『和(なごみ)』
 を使用してください。

- 屋根下地用の防水シート「和(なごみ)」。軽量かつしなやかで防水性、施工性、製品強度に優れます。

重ねしを充分にとってください。

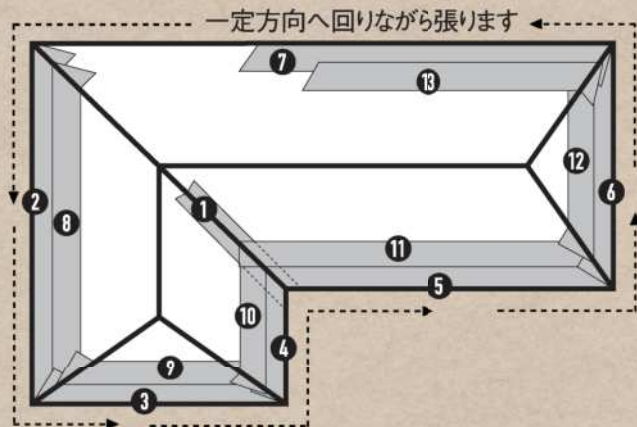
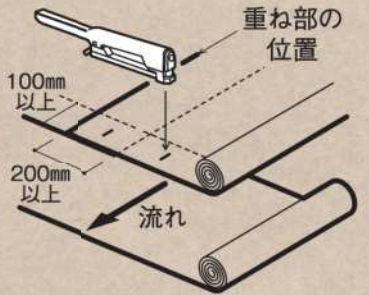
プロタイトの場合 ※ ロラーを使用

- 重ねしは、縦方向100mm、横方向200mm以上重ね合わせてください。
- 重ねしは、ローラー等で転圧し密着させてください。
- 上下段の重ね部の位置は、2,000mm以上ずらしてください。



和(なごみ)の場合 ※ タッカーを使用

- 重ねしは、縦方向100mm、横方向200mm以上重ね合わせてください。
- 重ねしは、ステーブル釘で固定してください。
- 上下段の重ね部の位置は、2,000mm以上ずらしてください。



プロタイト・和(なごみ)共通

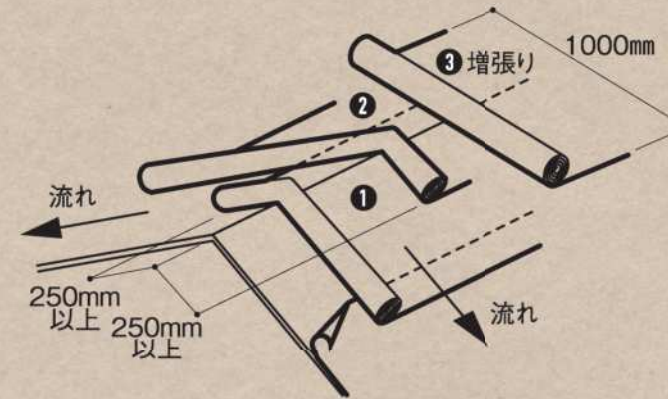
全体は左図の順番で施工をします。

- 施工の順番は「プロタイト」「和(なごみ)」共通です。
- 谷部①からスタートし、②→③→④…のように軒先部から1段目のルーフィングを一定方向に張ります。
- 1段目を張り終えたら、⑧→⑨→⑩…のように2段目のルーフィングも一定方向に張ります。
- 同様の手順で棟部までルーフィングを張り上げます。

プロタイト・和(なごみ)共通

棟部は返し重ねを充分にとってください。

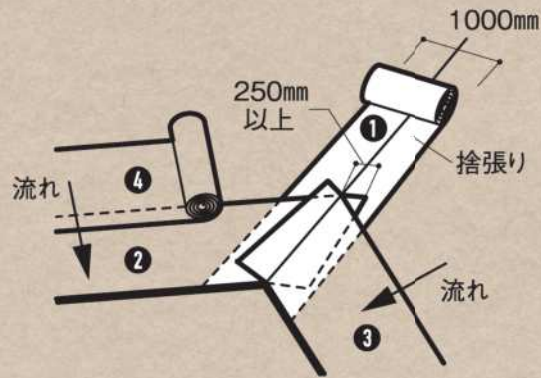
- 250mm以上、左右へ折り掛けとし、棟頂部から左右へ一枚ものを増張りしてください。
- 数字の順番で施工してください。



プロタイト・和(なごみ)共通

谷部は特に入念に施工願います。

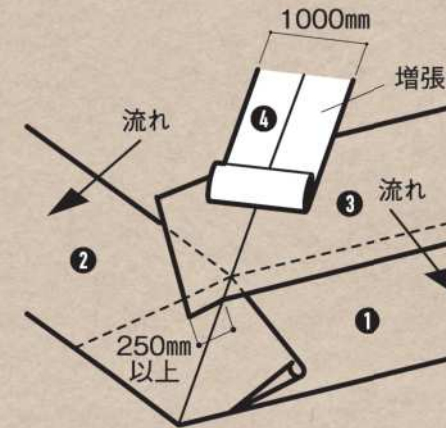
- 数字の順番で施工してください。
- 谷部は特に雨水の量が多くなりますので、はじめに谷底から左右へ一枚ものを捨張りしてください。
- 左右に重ね合わせ、谷底から250mm以上張り延ばしてください。



プロタイト・和(なごみ)共通

隅棟部は返し重ねを充分にとってください。

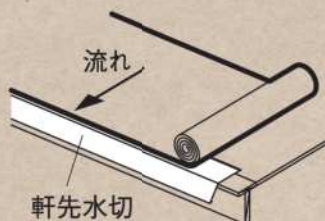
- 数字の順番で施工してください。
- 250mm以上、左右へ折り掛けとし、棟頂部から左右へ一枚ものを増張りしてください。



軒先は特に入念な施工が必要です。

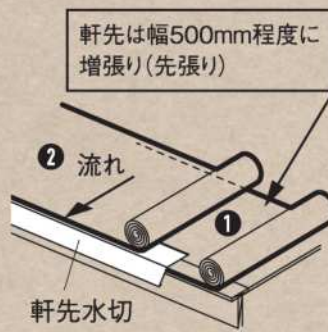
プロタイトの場合

- 軒先水切を必ず取付けてください。
- 軒先は特に雨水の量が多くなりますので、軒先の先端より丁寧に施工(2重張り推奨)してください。



和(なごみ)の場合

- 軒先部分は幅500mmの増張り(先張り)をしてください。
- 軒先水切を必ず取付けてください。
- 軒先は特に雨水の量が多くなりますので、軒先の先端より丁寧に施工(2重張り推奨)してください。



プロタイト・和(なごみ)共通

壁際は下葺材の立ち上がりを充分にとってください。

- 壁面との取り合いは、壁面に沿って250mm以上、かつ雨押え上端より50mm以上立ち上げてください。(増張り推奨)

